

キャンパス・サポーター (障がい学生支援) 募集



障がいのある学生が障がいのない学生と同様に授業を受けることができるよう、支援をしてくれる学生を募集しています。

支援活動の例

遠隔授業期間中の支援

- ・動画の字幕作成
- ・音声の文字化システム誤変換の修正
- ・パソコンテイク ・手話通訳
- ・教材のテキストデータ化
- ・音声データの文字おこし など

支援活動には、謝金をお支払いします。

キャンパス・サポーター登録後、支援を行うことになった場合には、バリアフリー推進部門長から委嘱状が交付されます。



支援を受けている学生からの声
音声の自動文字変換の誤修正はサポーターがほとんど修正してくれるので、大変読みやすかった / 動画の字幕はよく理解できたのでありがたかった

キャンパス・サポーターからの声
障がいについて知り、考えるきっかけになった / 遠隔授業期間中でも自宅で人の役に立てた / 就活で支援の話をする機会があった

支援活動を行う前に、傷害保険、賠償責任保険に必ず加入してください。

興味・関心のある方は障がい学生支援室までお気軽にお問い合わせください。



キャンパス・サポーター令和2年度の支援例

音声の自動文字化システム誤変換の修正

支援内容・・・TeamsやZoomなどによるいくつかのライブ授業では、聴覚に障がいのある方が音声による情報を文字で得られるように、UDトークという音声を文字に自動変換するシステムを利用していますが、誤変換が生じるため、PCやスマートフォンでオンライン授業を視聴しながら、PC上でUDトークシステムを使って誤変換の修正を行います。

支援日時・・・ライブの授業での支援となるため、原則としてサポーター自身の履修と重なる時限に支援を行うことはできません。科目毎に原則として2名のサポーターが割り当てられ、担当となった秋学期の授業に毎回出席していただくことになります。

謝金・・・1時間あたり 学部生：1,050円、大学院生：1,150円 支援した月の翌々月17日に銀行振込となります。



この支援は、PC上で話すスピードに合わせて文字修正を行うため、PC入力の速さに自信のある方、ライブ授業での支援のため時間厳守できる方が向いています。数式や化学式を使う授業など、その分野を専攻している方でないと支援が難しい科目もありますので、多くの方の登録をお待ちしています。

動画の字幕作成

支援内容・・・聴覚に障がいのある方が音声による情報を文字で得られるように、授業で使用する動画に字幕を作成します

支援日時・・・ライブ授業での支援ではないため、自身の都合のよい時間に作業を行います。授業によって動画の使い方が異なり、作成期限は授業担当教員と相談していただくことになりますが、教員から動画を受け取り後、約5日以内の作成となっていることが多いようです。科目毎に原則として1~2名のサポーターが割り当てられます。

謝金・・・元の動画時間の5倍の作業時間として、分単位で計算し、支援した月の翌々月17日に銀行振込となります。

1分あたり 学部生：17.5円、大学院生：19.2円

例えば、学部生が15分の動画に字幕作成を行った場合は、 $15 \times 5 \times 17.5 = 1,313$ 円の謝金が支払われます。

キャンパス・サポーター登録から支援開始までの流れ



令和2年度は自宅でPCを使いながら行う支援が中心となります